

# 林材業の業況動向調査結果の概要

平成19年度上期

平成19年6月

独立行政法人  
農林漁業信用基金

林業管理室

## 目次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 調査のフレーム                 | 1  |
| 概況                      | 2  |
| 項目別調査結果                 | 4  |
| A. 通常調査                 |    |
| 1. 売上の見通し               | 4  |
| 2. 資金繰り等の見通し            | 6  |
| 3. 設備投資の意向              | 14 |
| 4. 在庫量の見通し              | 16 |
| 5. 純利益の見通し              | 17 |
| 6. 木材価格の見通し             | 19 |
| 7. 当面する経営上の問題点          | 20 |
| 8. 今後の経営見通し及び事業方針       | 21 |
| B. 特別調査                 |    |
| 1. 乾燥材(製品)の取扱い状況について    | 23 |
| 2. 生産した乾燥材(製品)の取引状況について | 24 |

## 調査のフレーム

### 1. 調査目的

この調査は、林材業の短期的動向を把握し、農林漁業信用基金の林業信用保証制度の適切な運営に資することを目的として、昭和51年10月以降、6月(上期)及び12月(下期)の年2回、継続的に実施している。

### 2. 調査対象

主に製材業を営み、保証の利用実績がある企業を地域別(全国を9ブロックに区分)に選び、継続的に調査対象としている。(調査対象企業数597社)

今回調査の有効回答の回収率は、48.1%であった。

なお、有効回答をした企業280社のうち、国産材を主に取扱う企業は224社、外材を主に取扱う企業は59社となっている。

### 3. 調査方法

アンケート調査票を調査対象企業へ直接郵送し、回答を返送してもらう方法で行った。

### 4. 調査時点及び調査対象期間

平成19年4月時点での、上期(平成19年4月～平成19年9月)の見通し・現況並びに平成18年度下期(平成18年10月～平成19年3月)の実績を調査したもので、平成19年5月25日までに回答のあったものを集計した。

### 5. 本文中の略称

DI.....動向指数(Diffusion Index) プラス要因指数からマイナス要因指数を差し引いて算出した。

「国産材企業」.....国産材を主に取扱う企業

「外材企業」.....外材を主に取扱う企業

前回調査.....平成18年10月に実施した本調査

### 6. 地域区分

「地域別見通し」における地域区分の都道府県別内訳は次のとおり。

北海道 …… 北海道

東 北 …… 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関 東 …… 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、  
神奈川県、山梨県、長野県

北 陸 …… 新潟県、富山県、石川県、福井県

東 海 …… 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近 畿 …… 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中 国 …… 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四 国 …… 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九 州 …… 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、  
鹿児島県、沖縄県

## 概況

### A. 通常調査

平成19年度上期の景況動向調査結果を要約すると以下の通りである。

#### 1. 売上見通し

- ・ 見通しDIIは3ポイントで前回調査より7ポイント上回った。  
地域別では「北陸」、「東北」、「関東」が20ポイント以上増加し、「四国」が20ポイント、「東海」が15ポイントの下落となった。

#### 2. 資金繰り等の見通し

- ・ 資金繰りの見通しは、マイナス19ポイントで前回調査より1ポイント上回った。
- ・ 借入金調達難易度の見通しは、マイナス13ポイントで前回調査より2ポイント下回った。
- ・ 借入金残高の見通しDIIは、マイナス12ポイントで前回調査と同様であった。
- ・ 短期借入金の金利の見通しDIIは、71ポイントで前回調査より6ポイント上回った。また、平均金利の実績は、2.98%と、前回調査より0.12%上回った。
- ・ 売上代金の回収(現金と手形の割合)と受取手形のサイトについては、前回調査より「全額現金」が減少し、「手形50%以下」が増加した。サイトは「3ヶ月以上4ヶ月未満」が減少し、「4ヶ月以上5ヶ月未満」が増加した。  
仕入代金の決済状況(現金と手形の割合)と支払手形のサイトについては、前回調査より「全額現金」が減少し、手形の割合が増加した。サイトは、「3ヶ月未満」が減少し、「4ヶ月以上5ヶ月未満」、「6ヶ月以上」が若干増加した。

#### 3. 設備投資の意向

- ・ 見通しDIIは、マイナス33ポイントで、前回調査より10ポイント上回ったものの、なお、投資意欲は低調である。前期に設備投資を実施した企業の割合は20%であった。設備投資の目的は、「老朽化に伴う設備の更新」が38%と最も多いが、前回調査より5ポイント減少し、「規模拡大のための増設」が17%と前回調査より7ポイント増加した。

#### 4. 在庫量の見通し

- ・ 原木在庫量の見通しDIIは、マイナス15ポイントで前回調査より12ポイント上回った。製品在庫量の見通しDIIは、6ポイントで、前回調査より1ポイント下回った。

#### 5. 純利益の見通し

- ・ 純利益の見通しDIIは、マイナス23ポイントと前回調査より8ポイント上回ったものの、引き続き厳しい状況にある。  
地域別では前回調査より「関東」が42ポイント、「北陸」が29ポイント、「中国」が18ポイント、「九州」が16ポイント上回り、「四国」が29ポイント、「近畿」が12ポイント下回った。

#### 6. 木材価格の見通し

- ・ 原木価格の見通しDIIは、前回調査より4ポイント上回った。製品価格の見通しDIIは、前回調査より15ポイント上回った。

7. 当面する経営上の問題点

- ・ 「原材料仕入れ原価上昇」が25%、「売上不振」が23%と多い結果となった。

8. 今後の経営の見通し及び事業方針

- ・ 今後の経営状態では、見通しDIがマイナス24ポイントと上向き基調にあるが、依然として経営の見通しは苦しい状況である。今後の事業方針は、見通しDIが9ポイントと3期連続でプラスとなった。

B. 特別調査（以下の項目については、今回に限り調査したものである。）

1. 乾燥材(製品)の取扱い状況について

「順調に生産・販売している」22%、「設備導入のコスト高」が20%、「歩留りが低く採算性が低い」が18%などであった。

2. 生産した乾燥材(製品)の取扱状況について

(1) 主要な販売先について

「大手以外の住宅メーカー」が25%、「製品市場」が17%、「その他(自社で消費、輸出、一般製材業者、大工・個人など)」が15%であった。

(2) 乾燥材(製品)の販売先と納品先について

「販売先と納品先が同じ」が71%、「販売先と納品先が別」が29%という結果であった。

(3) 販売先と納品先が別と回答した企業の納品先について

「大手以外の住宅メーカー」と「プレカット工場」が17%、「小売店」が15%、「製品市場」が13%という結果であった。

## 項目別調査結果

### A. 通常調査

#### 1. 売上の見通し

売上の見通しは図表1の通りである。今期の見通しDIは、前回調査より7ポイント上回る3ポイントであり、前回に引き続きいて上向き基調となっている。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、「国産材企業」は前回調査より10ポイント上回り、「外材企業」は前回調査より8ポイント下回った。

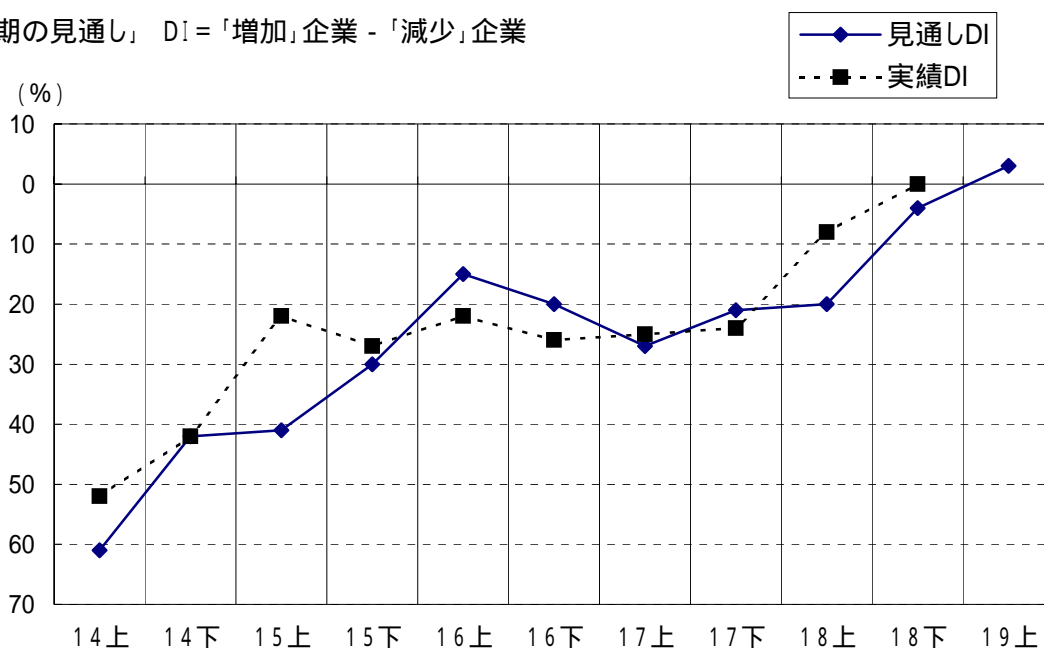
18年度下期の売上げに関する実績DIは、見通しDIを4ポイント上回る0ポイントであった。

図表1 売上の見通し

(単位: %)

| 項目         |       | 合計  | 増加 | 不変 | 減少 | DI |
|------------|-------|-----|----|----|----|----|
| 19年度上期の見通し |       | 100 | 31 | 41 | 28 | 3  |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 33 | 39 | 28 | 5  |
|            | 外材企業  | 100 | 25 | 44 | 31 | 6  |
| 18年度下期の見通し |       | 100 | 25 | 46 | 29 | 4  |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 24 | 47 | 29 | 5  |
|            | 外材企業  | 100 | 32 | 38 | 30 | 2  |
| 18年度下期の実績  |       | 100 | 32 | 36 | 32 | 0  |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 34 | 34 | 32 | 2  |
|            | 外材企業  | 100 | 25 | 43 | 32 | 7  |

「今期の見通し」 DI = 「増加」企業 - 「減少」企業



地域別売上げ見通しDIは、図表2の通りである。前回調査に比べ、「北陸」が47ポイント、「東北」が25ポイント、「関東」が20ポイント、「北海道」が9ポイント上回った。

一方、前回調査に比べ、「四国」が20ポイントの下落となった。

図表2 地域別売り上げの見通し

(単位: %)

| 地域  | 項目 | 19年度上期 |    |    |    |    | 18年度下期 |    |    |    |    |
|-----|----|--------|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|
|     |    | 合計     | 増加 | 不変 | 減少 | DI | 合計     | 増加 | 不変 | 減少 | DI |
| 北海道 |    | 100    | 44 | 26 | 30 | 14 | 100    | 26 | 53 | 21 | 5  |
| 東北  |    | 100    | 33 | 43 | 24 | 9  | 100    | 25 | 33 | 41 | 16 |
| 関東  |    | 100    | 25 | 45 | 30 | 5  | 100    | 21 | 33 | 46 | 25 |
| 北陸  |    | 100    | 28 | 50 | 22 | 6  | 100    | 12 | 35 | 53 | 41 |
| 東海  |    | 100    | 16 | 49 | 35 | 19 | 100    | 17 | 62 | 21 | 4  |
| 近畿  |    | 100    | 25 | 54 | 21 | 4  | 100    | 23 | 53 | 23 | 0  |
| 中国  |    | 100    | 36 | 28 | 36 | 0  | 100    | 26 | 48 | 26 | 0  |
| 四国  |    | 100    | 26 | 37 | 37 | 11 | 100    | 31 | 47 | 22 | 9  |
| 九州  |    | 100    | 40 | 34 | 26 | 14 | 100    | 33 | 48 | 19 | 14 |
| 合計  |    | 100    | 31 | 41 | 28 | 3  | 100    | 25 | 46 | 29 | 4  |

## 2. 資金繰り等の見通し

### (1) 資金繰り難易度の見通し

資金繰り難易度の見通しは図表3の通りである。見通しDIは、前回調査より1ポイント上回るマイナス19ポイントであった。

「国産材企業」、「外材企業」別の見通しでは、「国産材企業」は前回調査より3ポイント上回ったが、「外材企業」は前回調査より9ポイント下回った。

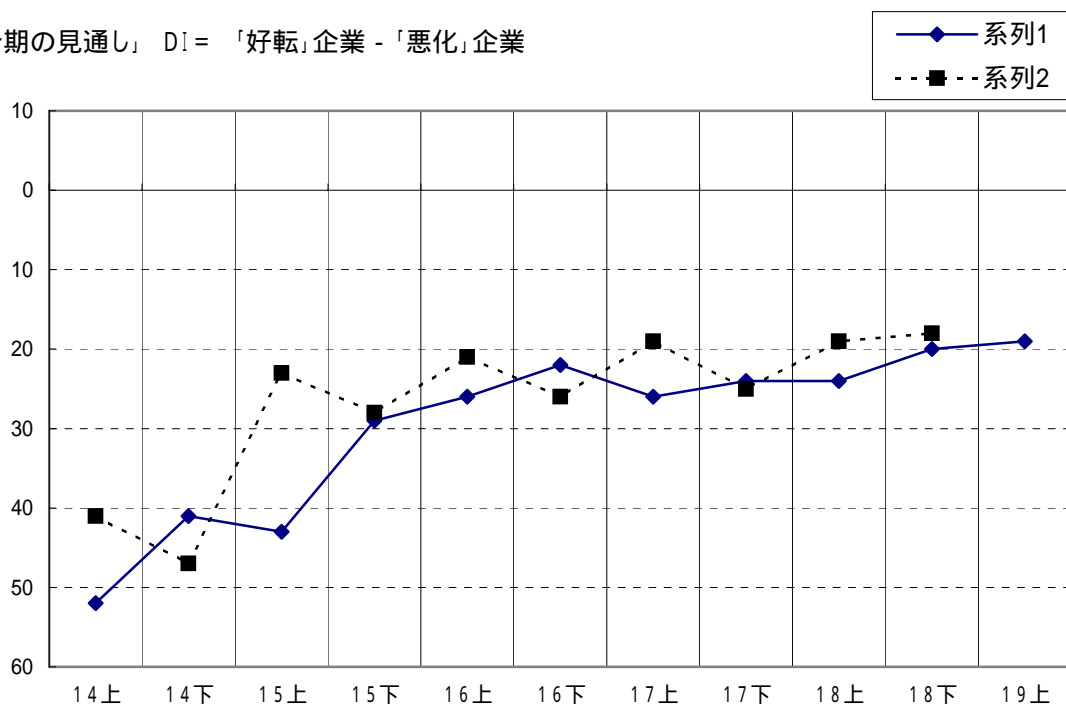
18年度下期の資金繰りに関する実績DIは、マイナス18ポイントで、見通しDIより2ポイント上回った。

図表3 資金繰り難易度見通し

(単位:%)

| 項目         |       | 合計  | 好転 | 不変 | 悪化 | DI |
|------------|-------|-----|----|----|----|----|
| 19年度上期の見通し |       | 100 | 8  | 65 | 27 | 19 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 9  | 64 | 27 | 18 |
|            | 外材企業  | 100 | 3  | 72 | 25 | 22 |
| 18年度下期の見通し |       | 100 | 9  | 62 | 29 | 20 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 9  | 61 | 30 | 21 |
|            | 外材企業  | 100 | 12 | 63 | 25 | 13 |
| 18年度下期の実績  |       | 100 | 10 | 62 | 28 | 18 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 11 | 60 | 29 | 18 |
|            | 外材企業  | 100 | 5  | 72 | 23 | 18 |

「今期の見通し」 DI = 「好転」企業 - 「悪化」企業



(2)借入金の調達難易度見通し

借入金の調達難易度見通しは図表4の通りである。今期の見通しDIは、マイナス13ポイントとなり、前回調査より2ポイント下回った。

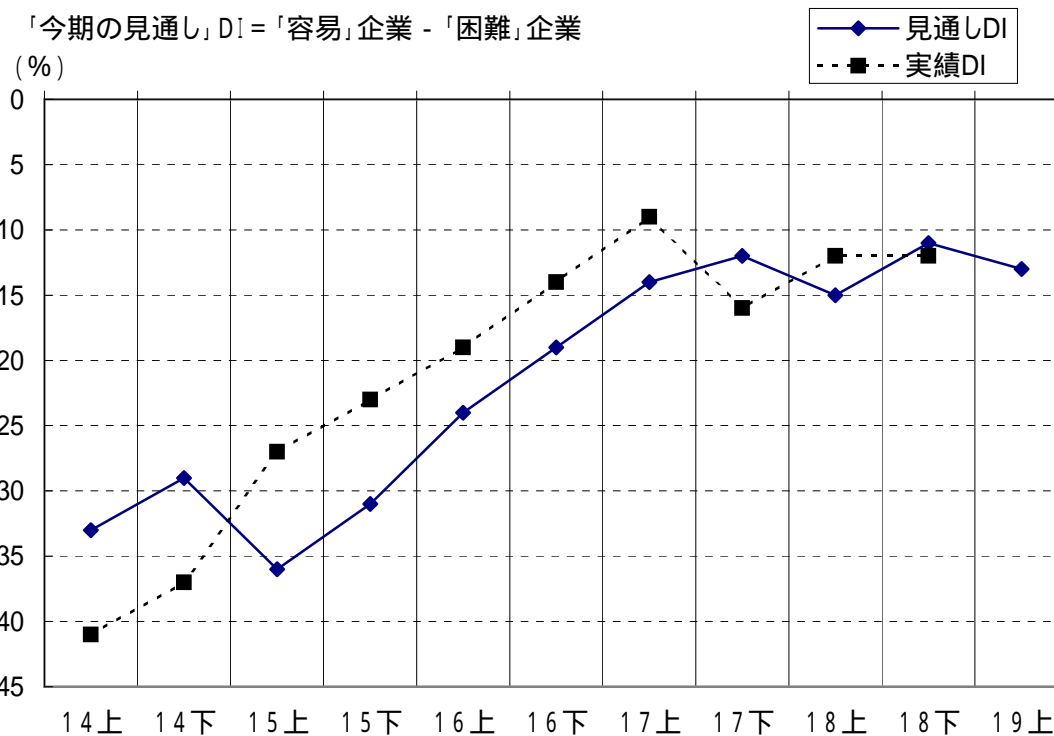
「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIをみると、「国産材企業」は前回調査と同様で、「外材企業」は7ポイント下回った。

18年度下期の借入金の調達に関する実績DIは、前回調査と同様で、見通しDIより1ポイント下回った。

図表4 借入金の調達難易度見通し

(単位:%)

| 項目         |       | 合計  | 容易 | 不変 | 困難 | DI |
|------------|-------|-----|----|----|----|----|
| 19年度上期の見通し |       | 100 | 12 | 63 | 25 | 13 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 14 | 61 | 25 | 11 |
|            | 外材企業  | 100 | 5  | 73 | 22 | 17 |
| 18年度下期の見通し |       | 100 | 12 | 65 | 23 | 11 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 13 | 63 | 24 | 11 |
|            | 外材企業  | 100 | 8  | 74 | 18 | 10 |
| 18年度下期の実績  |       | 100 | 11 | 66 | 23 | 12 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 12 | 65 | 23 | 11 |
|            | 外材企業  | 100 | 5  | 74 | 21 | 16 |





### (3)借入金残高の増減見通し

借入金残高の増減の見通しは図表5の通りである。見通しDIは、前回調査と同じマイナス12ポイントであった。

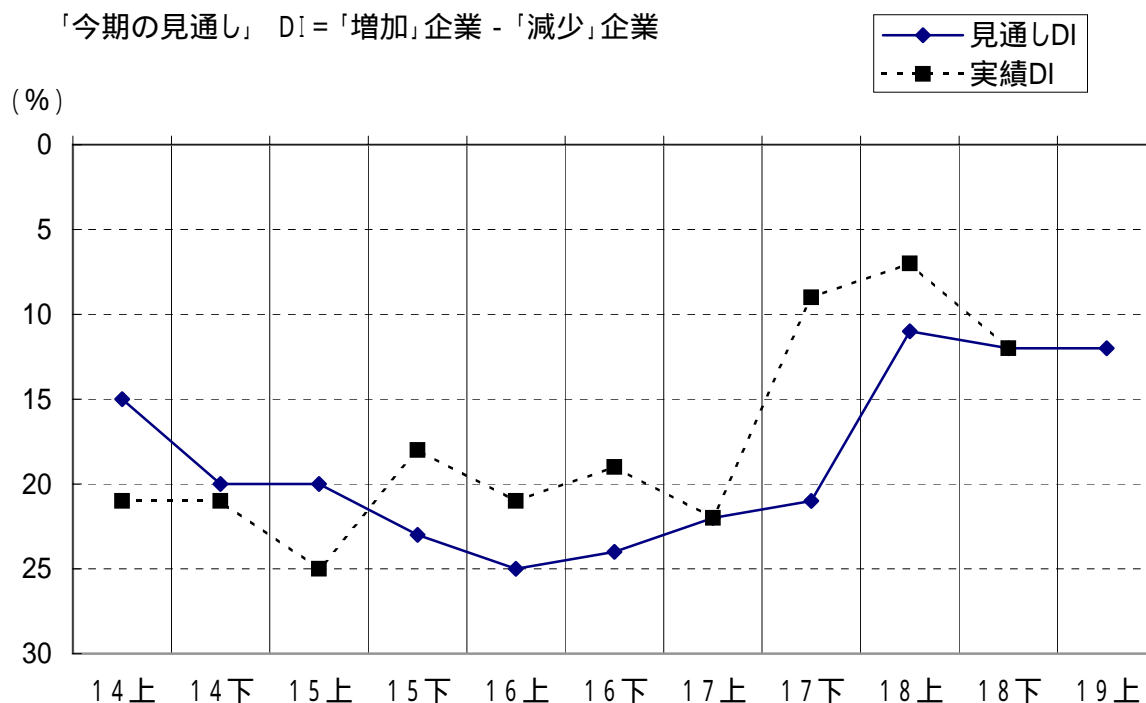
「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、「国産材企業」は前回調査より3ポイント減少し、マイナス13ポイントであり、「外材企業」は前回調査より10ポイント上回った。

18年度下期の借入金残高の増減に関する実績DIは、見通しDIと同様のマイナス12ポイントであった。

図表5 借入金残高の増減見通し (単位:%)

| 項目         |       | 合計  | 増加 | 不変 | 減少 | DI |
|------------|-------|-----|----|----|----|----|
| 19年度上期の見通し |       | 100 | 19 | 50 | 31 | 12 |
| 内訳         | 国産材企業 | 100 | 21 | 45 | 34 | 13 |
|            | 外材企業  | 100 | 14 | 64 | 22 | 8  |
| 18年度下期の見通し |       | 100 | 19 | 50 | 31 | 12 |
| 内訳         | 国産材企業 | 100 | 20 | 50 | 30 | 10 |
|            | 外材企業  | 100 | 15 | 52 | 33 | 18 |
| 18年度下期の実績  |       | 100 | 18 | 52 | 30 | 12 |
| 内訳         | 国産材企業 | 100 | 19 | 51 | 30 | 11 |
|            | 外材企業  | 100 | 14 | 55 | 31 | 17 |

「今期の見通し」  $DI = \text{「増加」企業} - \text{「減少」企業}$



#### (4)短期借入金の金利

##### 短期借入金の金利見通し

短期借入金の金利見通しは図表6のとおりである。見通しDIは、71ポイントと前々回に続いて前回調査を上回った。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、前回調査よりも「国産材企業」は5ポイント、「外材企業」は10ポイント、それぞれ上回った。

18年度下期の借入金利に関する実績DIは、見通しよりも17ポイント大幅に下回った。

##### 調査時点における平均金利

企業の借入金の平均金利は2.98%と前回調査より0.12%上昇した。

「国産材企業」と「外材企業」との平均金利の差は0.23%であった。

図表6 短期借入金の金利動向

(単位:%)

| 年度期別       |       | 項目 | 合計  | 上昇 | 不変 | 低下 | DI |
|------------|-------|----|-----|----|----|----|----|
| 19年度上期の見通し |       |    | 100 | 71 | 29 | 0  | 71 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 68 | 32 | 0  | 68 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 83 | 17 | 0  | 83 |
| 18年度下期の見通し |       |    | 100 | 65 | 35 | 0  | 65 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 63 | 37 | 0  | 63 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 73 | 27 | 0  | 73 |
| 18年度下期の実績  |       |    | 100 | 50 | 48 | 2  | 48 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 47 | 51 | 2  | 45 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 61 | 35 | 4  | 57 |

「今期の見通し」 DI = 「上昇」企業 - 「低下」企業

図表6 - 2 調査時点における平均金利 (単位:%)

| 年度期別       |       | 項目 | 平均金利<br>(調査時点) |
|------------|-------|----|----------------|
| 19年度上期(今回) |       |    | 2.98           |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 3.03           |
|            | 外材企業  |    | 2.80           |
| 18年度下期(前回) |       |    | 2.86           |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 2.87           |
|            | 外材企業  |    | 2.82           |

(5)売上代金の回収及び仕入代金の決済

売上代金の回収

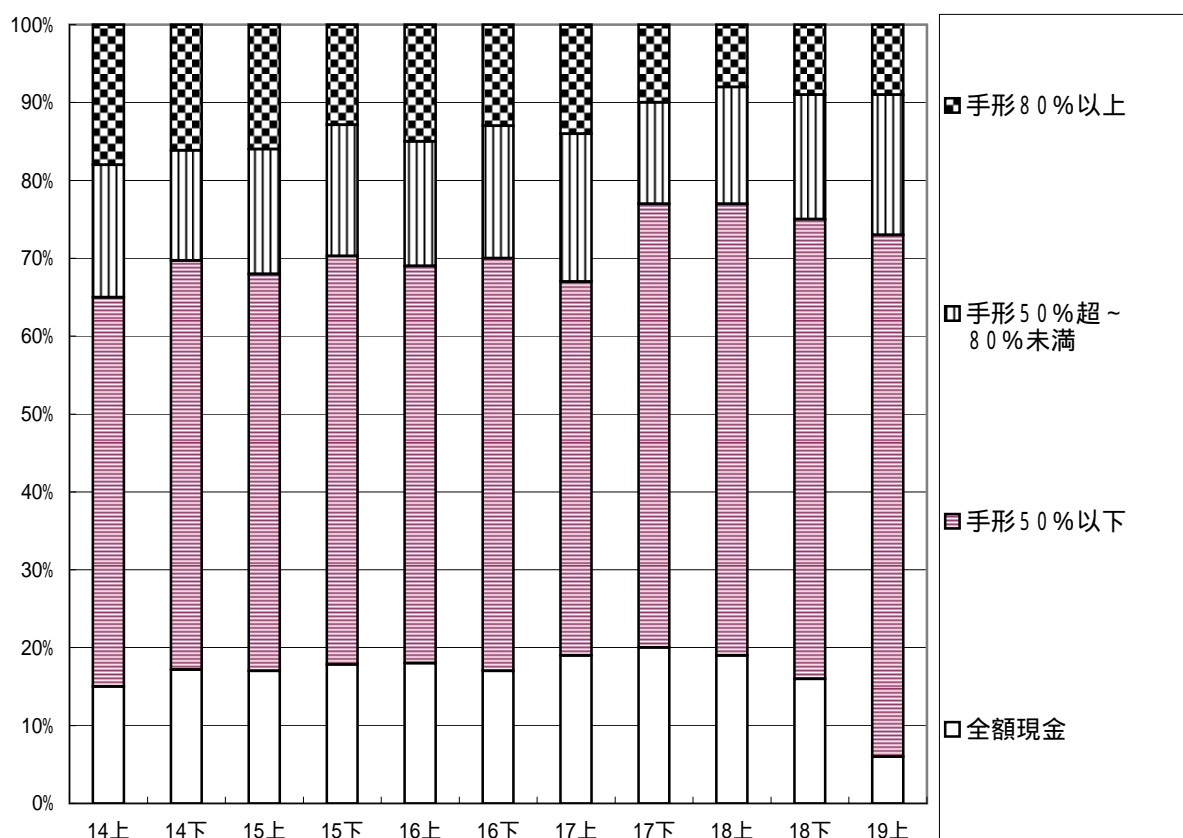
売上代金の回収状況は図表7の通りで、前回調査と比して「全額現金」が減少し、「手形50%以下」が増加する結果となった。

「国産材企業」、「外材企業」別では、「国産材企業」、「外材企業」とも全体と同様の傾向であった。

図表7 売上代金の回収状況

(単位:%)

| 年度期別     | 区分    | 合計  | 全額現金 | 手形50%以下 | 手形50%超～80%未満 | 手形80%以上 |
|----------|-------|-----|------|---------|--------------|---------|
| 平成19年度上期 |       | 100 | 6    | 67      | 18           | 9       |
| 内 訳      | 国産材企業 | 100 | 7    | 70      | 17           | 6       |
|          | 外材企業  | 100 | 2    | 59      | 22           | 17      |
| 平成18年度下期 |       | 100 | 16   | 59      | 16           | 9       |
| 内 訳      | 国産材企業 | 100 | 21   | 59      | 13           | 7       |
|          | 外材企業  | 100 | 4    | 58      | 25           | 13      |
| 平成18年度上期 |       | 100 | 19   | 58      | 15           | 8       |
| 内 訳      | 国産材企業 | 100 | 22   | 57      | 13           | 8       |
|          | 外材企業  | 100 | 8    | 57      | 23           | 12      |



## 受取手形のサイト

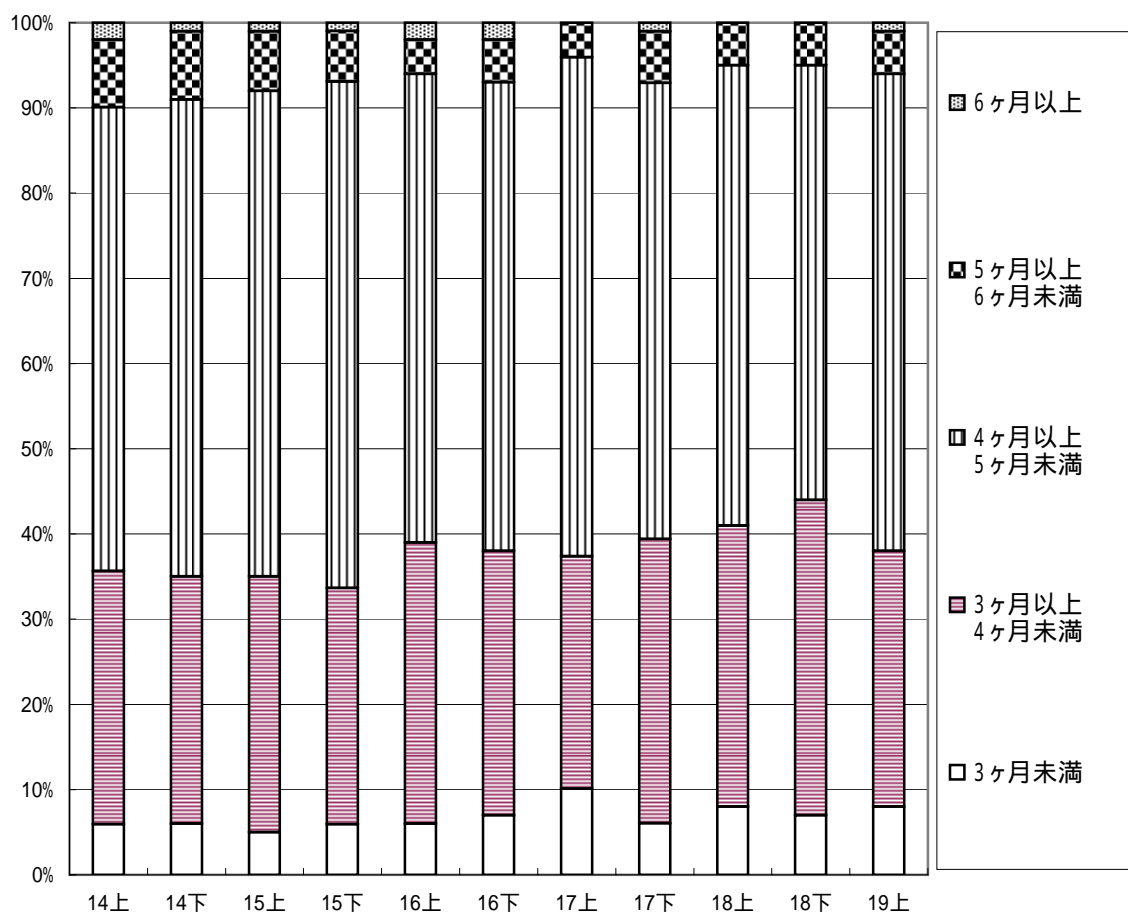
受取手形のサイトは図表8の通りで、前回調査と比してサイトがやや長めになる結果となった。

「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」・「外材企業」とも全体と同様の傾向であった。

図表8 受取手形のサイト

(単位:%)

| 年度期別     | 区分    | 合計  | 3ヶ月未満 | 3ヶ月以上<br>4ヶ月未満 | 4ヶ月以上<br>5ヶ月未満 | 5ヶ月以上<br>6ヶ月未満 | 6ヶ月以上 |
|----------|-------|-----|-------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 平成19年度上期 |       | 100 | 8     | 30             | 56             | 5              | 1     |
| 内訳       | 国産材企業 | 100 | 10    | 33             | 52             | 4              | 1     |
|          | 外材企業  | 100 | 5     | 23             | 58             | 10             | 4     |
| 平成18年度下期 |       | 100 | 7     | 37             | 51             | 5              | 0     |
| 内訳       | 国産材企業 | 100 | 9     | 38             | 49             | 4              | 0     |
|          | 外材企業  | 100 | 3     | 33             | 58             | 6              | 0     |
| 平成18年度上期 |       | 100 | 8     | 33             | 54             | 5              | 0     |
| 内訳       | 国産材企業 | 100 | 10    | 36             | 51             | 4              | 0     |
|          | 外材企業  | 100 | 2     | 26             | 64             | 9              | 0     |



## 仕入代金の決済

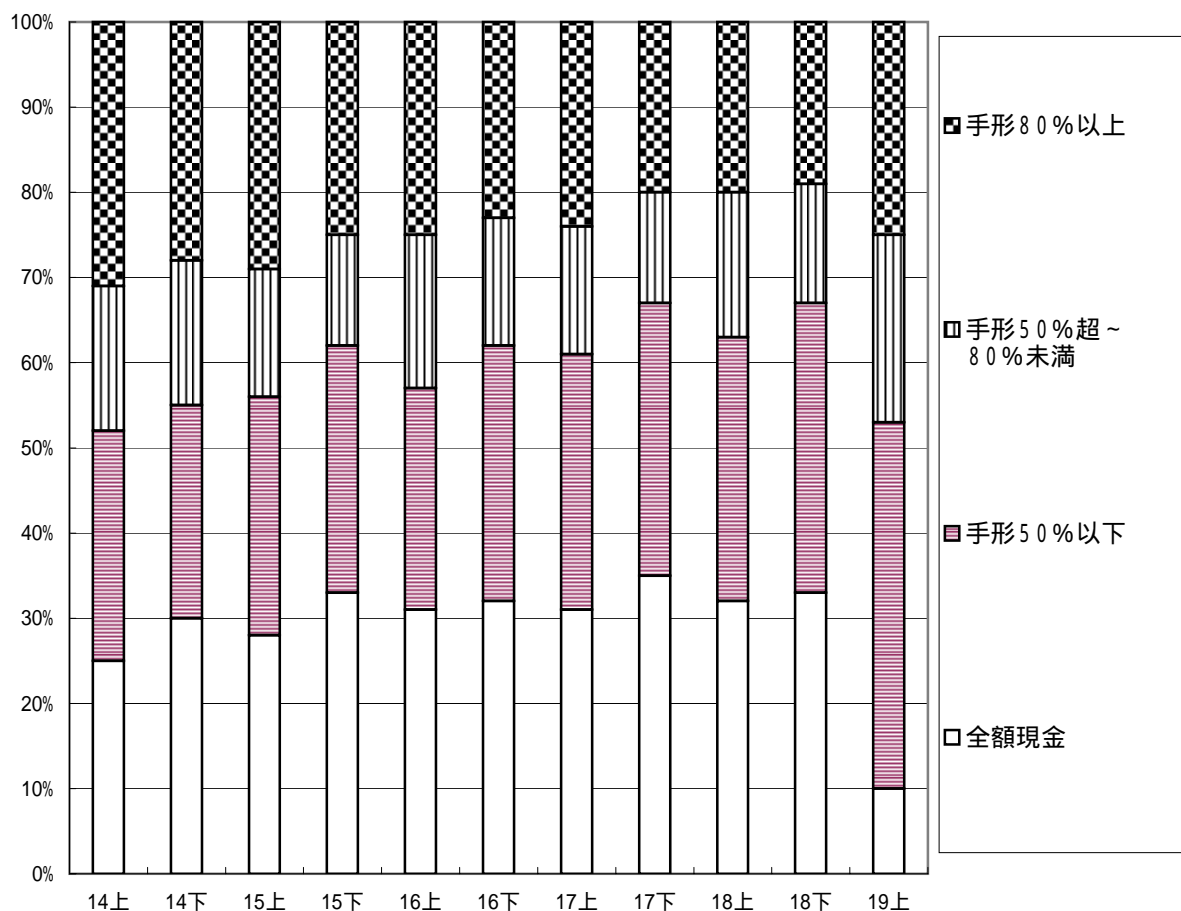
仕入代金の決済状況は図表9の通りで、「全額現金」が減少し、割合を問わず「手形」が増加した結果となった。

「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は「全額現金」の割合が24ポイント減少し、「手形50%以下」の割合が11ポイント増加した。「外材企業」は「全額現金」の割合が18ポイント減少し、「手形50%超～80%未満」の割合が9ポイント増加した。

図表9 仕入代金の決済状況

(単位:%)

| 年度期別     | 区分    | 合計  | 全額現金 | 手形50%以下 | 手形50%超～80%未満 | 手形80%以上 |
|----------|-------|-----|------|---------|--------------|---------|
| 平成19年度上期 |       | 100 | 10   | 43      | 22           | 25      |
| 内 訳      | 国産材企業 | 100 | 11   | 46      | 20           | 23      |
|          | 外材企業  | 100 | 6    | 34      | 30           | 30      |
| 平成18年度下期 |       | 100 | 33   | 34      | 14           | 19      |
| 内 訳      | 国産材企業 | 100 | 35   | 35      | 12           | 18      |
|          | 外材企業  | 100 | 24   | 31      | 21           | 24      |
| 平成18年度上期 |       | 100 | 32   | 31      | 17           | 20      |
| 内 訳      | 国産材企業 | 100 | 35   | 30      | 16           | 19      |
|          | 外材企業  | 100 | 18   | 40      | 18           | 24      |



## 支払手形のサイト

支払手形のサイトは図表10の通りである。支払手形サイトについては、前回調査と同様の傾向であった。

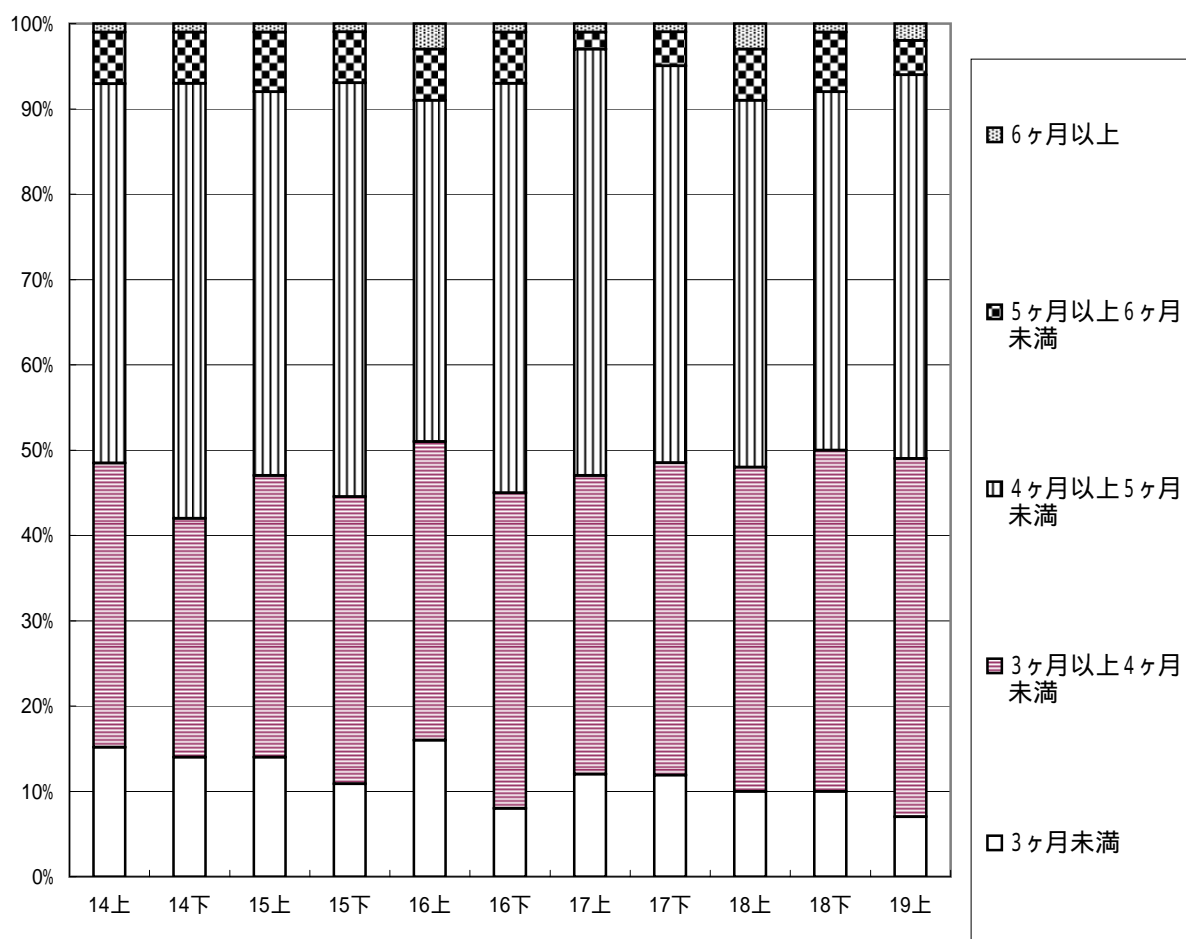
「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は、前回調査より「3ヶ月未満」が5ポイント減少し、「4ヶ月以上5ヶ月未満」が3ポイント増加した。

「外材企業」は、前回調査より「5ヶ月以上6ヶ月未満」の割合が5ポイント減少し、「6ヶ月以上」の割合が2ポイント増加した。

図表10 支払手形のサイト

(単位: %)

| 区分       |       | 合計  | 3ヶ月未満 | 3ヶ月以上<br>4ヶ月未満 | 4ヶ月以上<br>5ヶ月未満 | 5ヶ月以上<br>6ヶ月未満 | 6ヶ月以上 |
|----------|-------|-----|-------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 年度期別     |       |     |       |                |                |                |       |
| 平成19年度上期 |       | 100 | 7     | 42             | 45             | 4              | 2     |
| 内<br>訳   | 国産材企業 | 100 | 8     | 48             | 40             | 2              | 2     |
|          | 外材企業  | 100 | 4     | 23             | 59             | 10             | 4     |
| 平成18年度下期 |       | 100 | 10    | 40             | 42             | 7              | 1     |
| 内<br>訳   | 国産材企業 | 100 | 13    | 46             | 37             | 4              | 0     |
|          | 外材企業  | 100 | 2     | 24             | 57             | 15             | 2     |
| 平成18年度上期 |       | 100 | 10    | 38             | 43             | 6              | 3     |
| 内<br>訳   | 国産材企業 | 100 | 13    | 43             | 40             | 3              | 1     |
|          | 外材企業  | 100 | 0     | 18             | 55             | 16             | 11    |



### 3. 設備投資の意向

設備投資の意向は図表11の通りである。今期の見通しDIはマイナス33ポイントと、前回調査より10ポイント上昇したものの、依然として投資意欲は低調である。

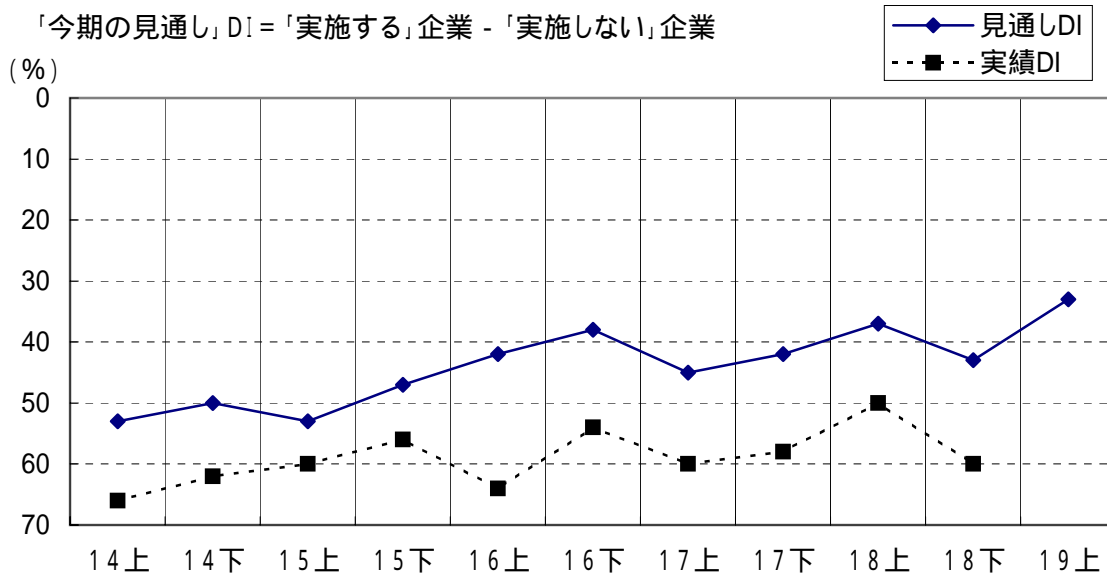
「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、前回調査より「国産材企業」が16ポイント上昇し、「外材企業」が14ポイント下落している。

18年度下期の設備投資に関する実績DIは、見通しDIより17ポイント下回るマイナス60ポイントであった。

図表11 設備投資の動向

(単位:%)

| 年度期別       |       | 区分 | 合計  | 実施する | 実施しない | 未定 | DI |
|------------|-------|----|-----|------|-------|----|----|
| 19年度上期の見通し |       |    | 100 | 25   | 58    | 17 | 33 |
| 内訳         | 国産材企業 |    | 100 | 27   | 55    | 18 | 28 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 15   | 69    | 16 | 54 |
| 18年度下期の見通し |       |    | 100 | 18   | 61    | 21 | 43 |
| 内訳         | 国産材企業 |    | 100 | 18   | 62    | 20 | 44 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 17   | 57    | 26 | 40 |
| 18年度下期の実績  |       |    | 100 | 20   | 80    |    | 60 |
| 内訳         | 国産材企業 |    | 100 | 19   | 81    |    | 62 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 22   | 78    |    | 56 |

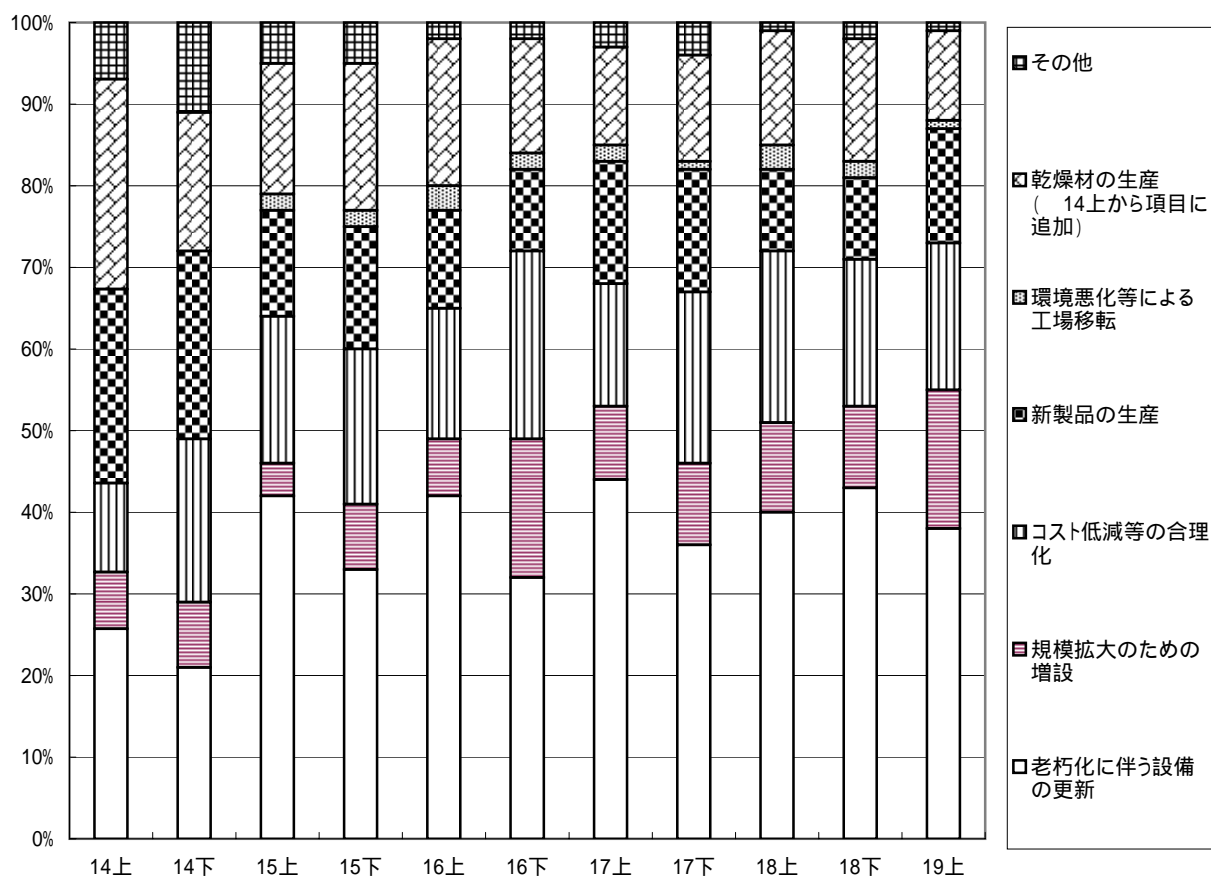


設備投資予定企業の投資目的は図表12の通りである。「老朽化に伴う設備の更新」が38ポイントと最も多く、次いで「コスト低減等の合理化」が18ポイント、「規模拡大のための増設」が17ポイント、「新製品の生産」が14ポイントとなった。

「国産材企業」・「外材企業」別にみると、前回調査より「国産材企業」は「規模拡大のための増設」が10ポイント増加し、「老朽化に伴う設備の更新」が7ポイント減少した。「外材企業」は「新製品の生産」が11ポイント増加し、「コスト低減等の合理化」が12ポイント減少した。

図表12 設備投資予定企業の投資目的 (単位:%)

| 年度期別       |       | 項目 | 合計  | 老朽化に伴う設備の更新 | 規模拡大のための増設 | コスト低減等の合理化 | 新製品の生産 | 環境悪化等による工場移転 | 乾燥材の生産 | その他 |
|------------|-------|----|-----|-------------|------------|------------|--------|--------------|--------|-----|
| 19年度上期の見通し |       |    | 100 | 38          | 17         | 18         | 14     | 1            | 11     | 1   |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 36          | 20         | 18         | 13     | 0            | 12     | 1   |
|            | 外材企業  |    | 100 | 47          | 6          | 16         | 19     | 3            | 6      | 3   |
| 18年度下期の見通し |       |    | 100 | 43          | 10         | 18         | 10     | 2            | 15     | 2   |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 43          | 10         | 15         | 10     | 2            | 18     | 2   |
|            | 外材企業  |    | 100 | 39          | 11         | 28         | 8      | 3            | 8      | 3   |





#### 4. 在庫量の見通し

在庫量の見通しは図表13の通りである。

(1) 原木在庫量についての今期の見通しDIは、マイナス15ポイントと、前回調査より12ポイント上回る結果となった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」が前回調査より8ポイント、「外材企業」が前回調査より12ポイントそれぞれ上回った。

18年度下期の原木在庫量に関する実績DIは、見通しDIより22ポイント上回った。

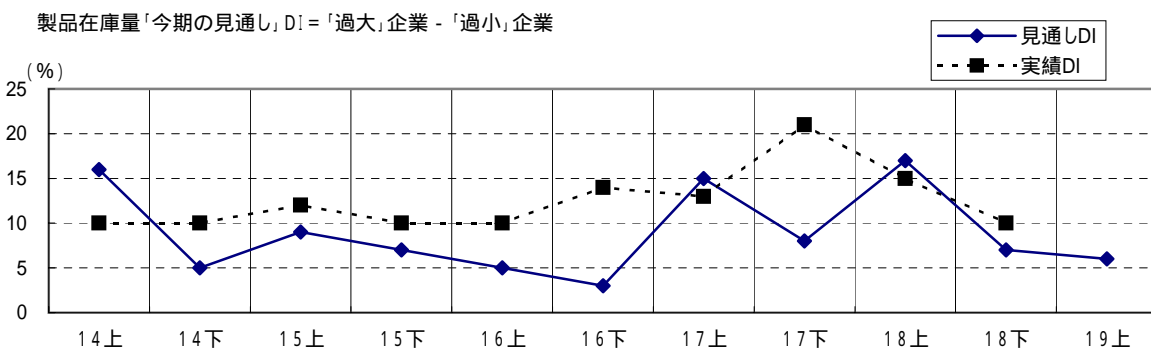
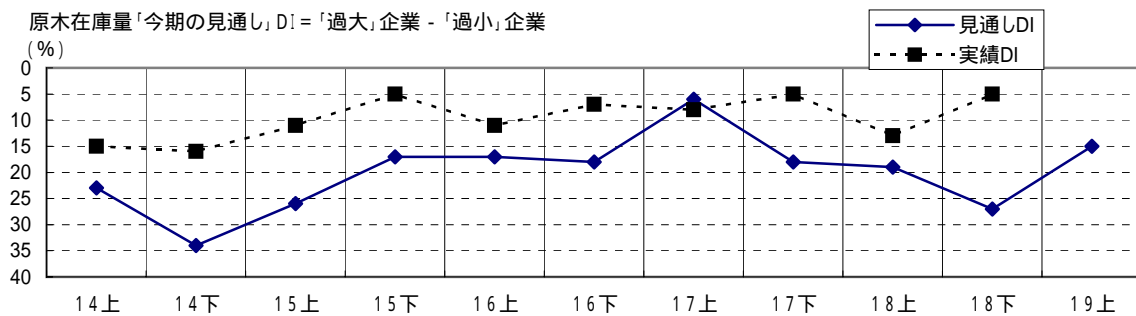
(2) 製品在庫量についての今期の見通しDIは6ポイントで、前回調査より1ポイント下回った。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、前回調査より「国産材企業」が2ポイント下回り、「外材企業」は6ポイント上回った。

18年度下期の製品在庫量に関する実績DIは、見通しDIより3ポイント上回った。

図表13 在庫量の見通し

| 年度期別       | 項目    | 原木在庫量 |    |    |    |    | 製品在庫量 |    |    |    |    |
|------------|-------|-------|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|
|            |       | 合計    | 過大 | 適正 | 過小 | DI | 合計    | 過大 | 適正 | 過小 | DI |
| 19年度上期の見通し |       | 100   | 9  | 67 | 24 | 15 | 100   | 20 | 66 | 14 | 6  |
| 内訳         | 国産材企業 | 100   | 10 | 64 | 27 | 17 | 100   | 21 | 64 | 15 | 6  |
|            | 外材企業  | 100   | 6  | 79 | 15 | 9  | 100   | 18 | 73 | 9  | 9  |
| 18年度下期の見通し |       | 100   | 5  | 63 | 32 | 27 | 100   | 21 | 65 | 14 | 7  |
| 内訳         | 国産材企業 | 100   | 5  | 61 | 34 | 29 | 100   | 22 | 64 | 14 | 8  |
|            | 外材企業  | 100   | 4  | 71 | 25 | 21 | 100   | 15 | 73 | 12 | 3  |
| 18年度下期の実績  |       | 100   | 16 | 63 | 21 | 5  | 100   | 23 | 64 | 13 | 10 |
| 内訳         | 国産材企業 | 100   | 15 | 62 | 23 | 8  | 100   | 24 | 62 | 14 | 10 |
|            | 外材企業  | 100   | 19 | 70 | 11 | 8  | 100   | 22 | 73 | 5  | 17 |



## 5. 純利益の見通し

純利益の見通しは図表14の通りである。今期の見通しDIはマイナス23ポイントと、前回は8ポイント上回ったが、依然マイナスの状況にある。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」が前回調査より10ポイント増加し、マイナス21ポイントであった。「外材企業」は前回調査より3ポイント下回り、マイナス31ポイントとなった。

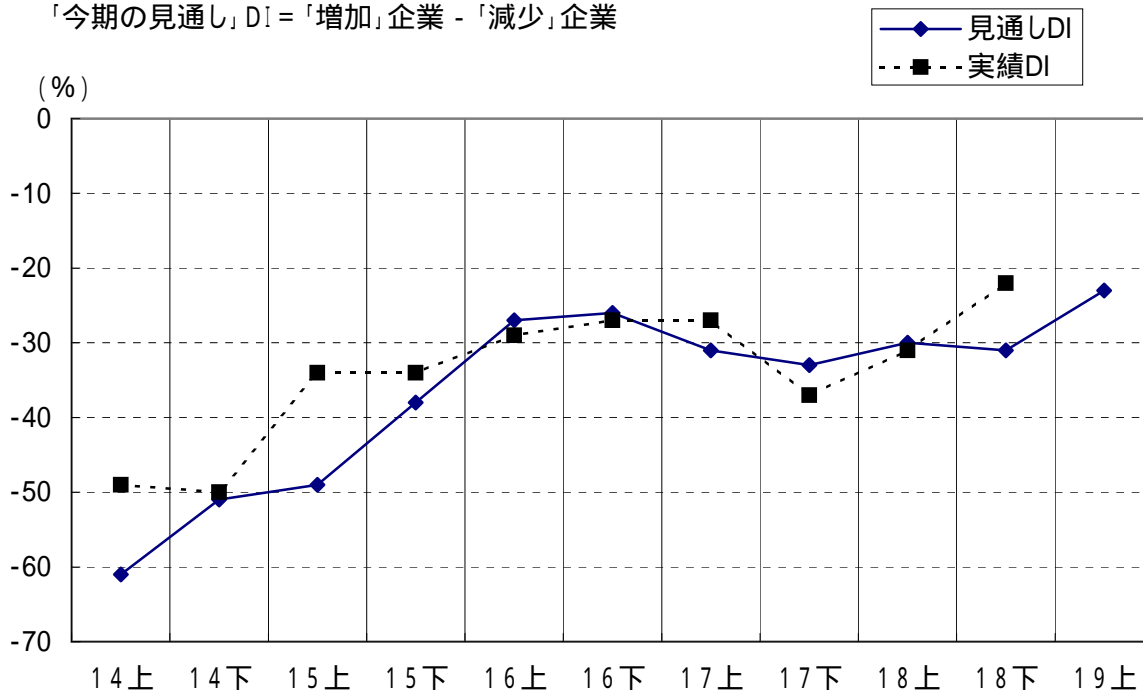
18年度下期の純利益に関する実績DIは、見通しDIより9ポイント上回りマイナス22ポイントであった。

図表14 純利益の見通し

(単位:%)

| 年度期別       |       | 項目 | 合計  | 増加 | 不変 | 減少 | DI |
|------------|-------|----|-----|----|----|----|----|
| 19年度上期の見通し |       |    | 100 | 18 | 41 | 41 | 23 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 19 | 41 | 40 | 21 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 12 | 45 | 43 | 31 |
| 18年度下期の見通し |       |    | 101 | 13 | 44 | 44 | 31 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 12 | 45 | 43 | 31 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 17 | 38 | 45 | 28 |
| 18年度下期の実績  |       |    | 100 | 17 | 44 | 39 | 22 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 17 | 43 | 40 | 23 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 16 | 50 | 34 | 18 |

「今期の見通し」DI = 「増加」企業 - 「減少」企業



地域別純利益の見通しは図表15の通りである。前期に比べ、「関東」が42ポイント、「北陸」が29ポイント、「中国」が18ポイント、「九州」が16ポイント上回り、「四国」が29ポイント、「近畿」が12ポイント下回った。

図表15 地域別純利益の見通し

(単位：%)

| 項目<br>地域別 | 19年度上期 |    |    |    |    | 18年度下期 |    |    |    |    |
|-----------|--------|----|----|----|----|--------|----|----|----|----|
|           | 合計     | 増加 | 不変 | 減少 | DI | 合計     | 増加 | 不変 | 減少 | DI |
| 北海道       | 100    | 22 | 45 | 33 | 11 | 100    | 21 | 42 | 37 | 16 |
| 東北        | 100    | 13 | 43 | 44 | 31 | 100    | 14 | 31 | 55 | 41 |
| 関東        | 100    | 37 | 31 | 32 | 5  | 100    | 13 | 38 | 50 | 37 |
| 北陸        | 100    | 22 | 50 | 28 | 6  | 100    | 0  | 65 | 35 | 35 |
| 東海        | 100    | 10 | 47 | 43 | 33 | 100    | 17 | 34 | 48 | 31 |
| 近畿        | 100    | 4  | 53 | 43 | 39 | 100    | 13 | 47 | 40 | 27 |
| 中国        | 100    | 14 | 38 | 48 | 34 | 100    | 9  | 30 | 61 | 52 |
| 四国        | 100    | 11 | 37 | 52 | 41 | 100    | 12 | 64 | 24 | 12 |
| 九州        | 100    | 28 | 34 | 38 | 10 | 100    | 13 | 48 | 39 | 26 |
| 合計        | 100    | 18 | 41 | 41 | 23 | 100    | 13 | 44 | 44 | 31 |

## 6. 木材価格の見通し

原木及び製品価格の見通しは図表16のとおりである。

(1) 原木価格についての今期の見通しDIは、前回調査より4ポイント上回り、57ポイントとなった。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、前回調査より「国産材企業」は5ポイント、「外材企業」は6ポイントそれぞれ上回った。

18年度下期の原木価格に関する実績DIは、見通しDIより8ポイント下回り45ポイントであった。

(2) 製品価格についての今期の見通しDIは前回調査より15ポイント上回った。

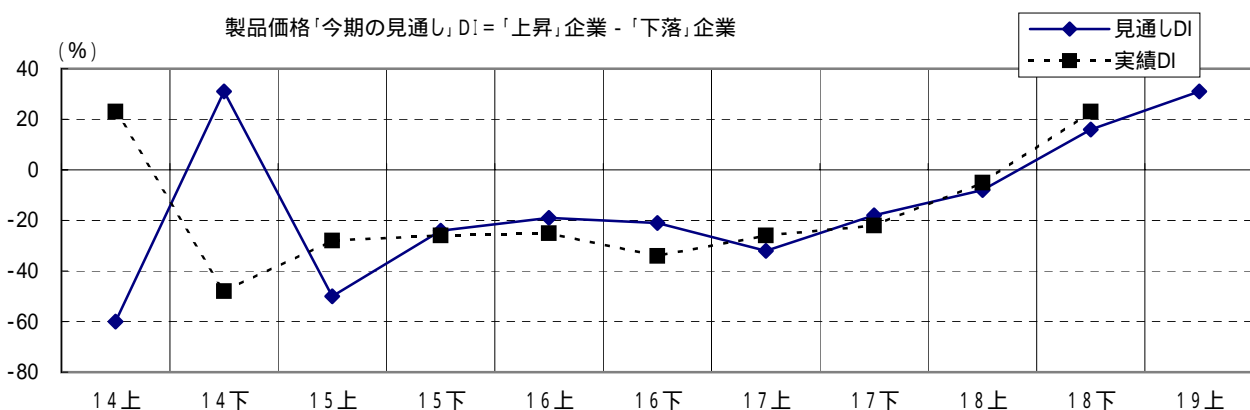
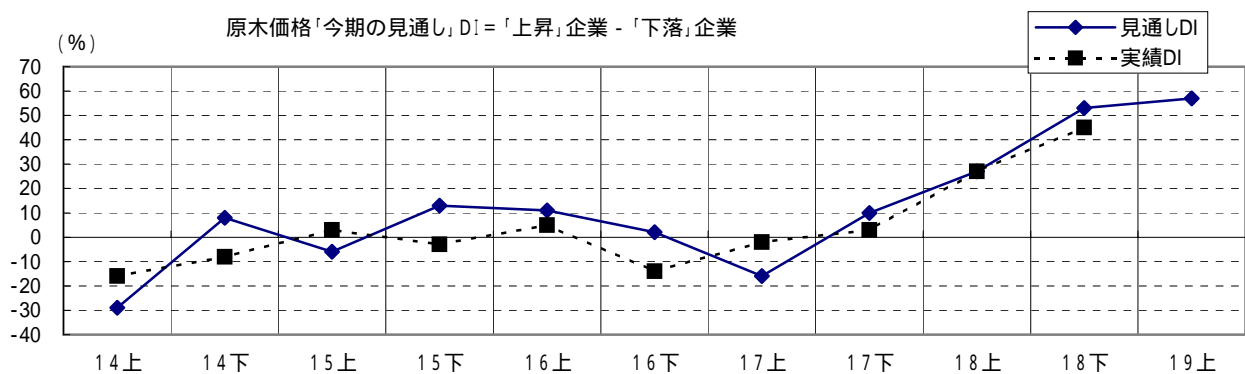
「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIでは、前回調査より「国産材企業」は20ポイント、「外材企業」は1ポイント上回った。

18年度下期の製品価格に関する実績DIは、見通しDIより7ポイント上回った。

図表16 木材価格の見通し

(単位:%)

| 項目         |       | 原木価格 |    |     |    |    | 製品価格 |    |     |    |    |
|------------|-------|------|----|-----|----|----|------|----|-----|----|----|
|            |       | 合計   | 上昇 | 横這い | 下落 | DI | 合計   | 上昇 | 横這い | 下落 | DI |
| 19年度上期の見通し |       | 100  | 62 | 33  | 5  | 57 | 100  | 40 | 51  | 9  | 31 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100  | 57 | 38  | 5  | 52 | 100  | 39 | 50  | 11 | 28 |
|            | 外材企業  | 100  | 82 | 16  | 2  | 80 | 100  | 46 | 54  | 0  | 46 |
| 18年度下期の見通し |       | 100  | 56 | 41  | 3  | 53 | 100  | 30 | 56  | 14 | 16 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100  | 51 | 45  | 4  | 47 | 100  | 23 | 62  | 15 | 8  |
|            | 外材企業  | 100  | 74 | 26  | 0  | 74 | 100  | 52 | 41  | 7  | 45 |
| 18年度下期の実績  |       | 100  | 49 | 47  | 4  | 45 | 100  | 33 | 57  | 10 | 23 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100  | 44 | 52  | 4  | 40 | 100  | 29 | 58  | 13 | 16 |
|            | 外材企業  | 100  | 70 | 28  | 2  | 68 | 100  | 50 | 50  | 0  | 50 |



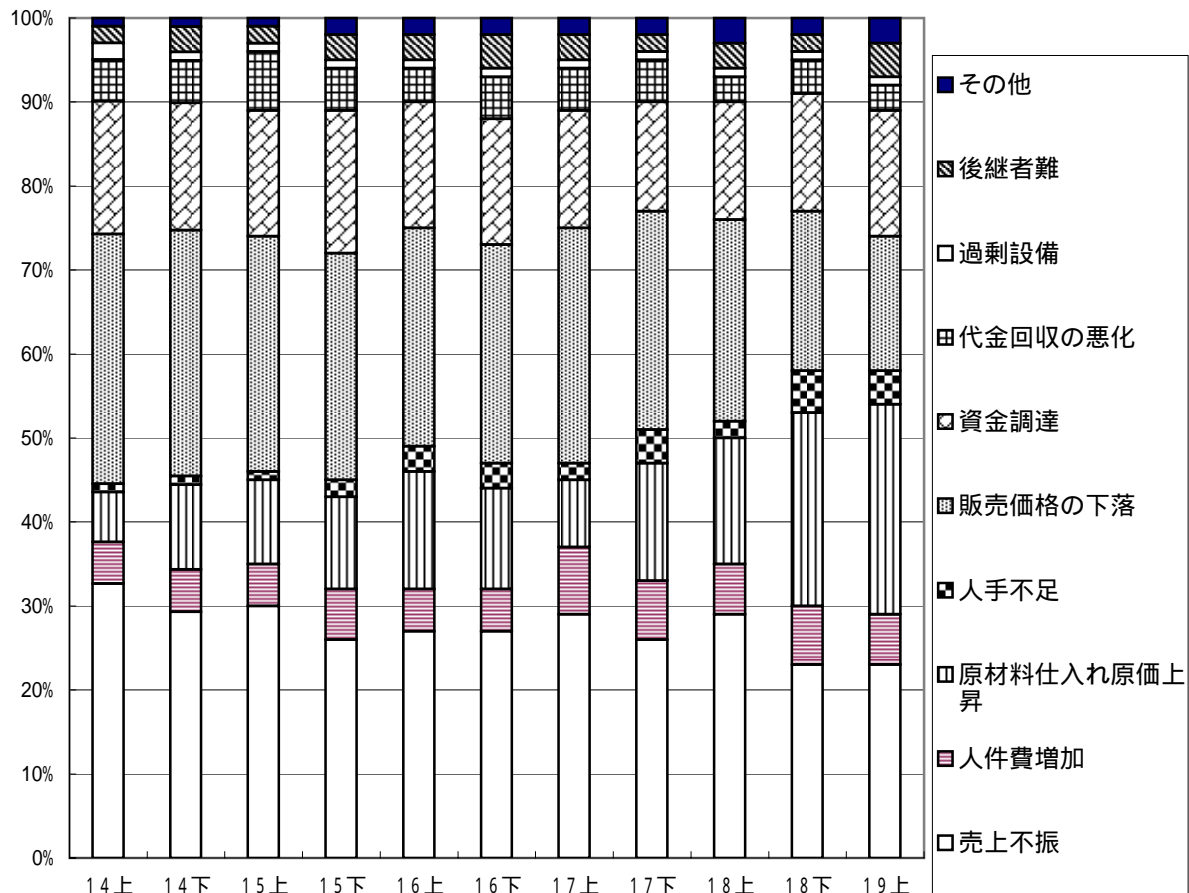
## 7. 当面する経営上の問題点

当面する経営上の問題点は図表17の通りである。「原材料仕入れ原価上昇」が25%と最も多く、次に「売上不振」(23%)、「販売価格の下落」(16%)が続いている。

「国産材企業」・「外材企業」別では、前回調査より「国産材企業」は「原材料仕入れ原価上昇」が2ポイント上昇し、「販売価格の下落」が3ポイント、「売上不振」が1ポイント減少した。「外材企業」は「売上不振」が3ポイント、「資金調達」が2ポイント上昇し、「原材料仕入れ原価上昇」が1ポイント減少した。

図表17 当面する経営上の問題点 (単位:%)

| 年度期別   | 項目    | 回答総計 | 売上不振 | 人件費増加 | 原材料仕入れ原価上昇 | 人手不足 | 販売価格の下落 | 資金調達 | 代金回収の悪化 | 過剰設備 | 後継者難 | その他 |
|--------|-------|------|------|-------|------------|------|---------|------|---------|------|------|-----|
| 19年度上期 |       | 100  | 23   | 6     | 25         | 4    | 16      | 15   | 3       | 1    | 4    | 3   |
| 内訳     | 国産材企業 | 100  | 22   | 6     | 23         | 5    | 17      | 14   | 4       | 1    | 4    | 4   |
|        | 外材企業  | 100  | 26   | 7     | 29         | 2    | 13      | 15   | 3       | 0    | 5    | 1   |
| 18年度下期 |       | 100  | 23   | 7     | 23         | 5    | 19      | 14   | 4       | 1    | 2    | 2   |
| 内訳     | 国産材企業 | 100  | 23   | 7     | 21         | 4    | 20      | 14   | 4       | 1    | 3    | 3   |
|        | 外材企業  | 100  | 23   | 7     | 30         | 5    | 13      | 13   | 4       | 1    | 1    | 3   |
| 18年度上期 |       | 100  | 29   | 6     | 15         | 2    | 24      | 14   | 3       | 1    | 3    | 3   |
| 内訳     | 国産材企業 | 100  | 28   | 6     | 13         | 3    | 25      | 15   | 3       | 1    | 4    | 2   |
|        | 外材企業  | 100  | 27   | 6     | 25         | 2    | 21      | 12   | 3       | 1    | 1    | 2   |



## 8. 今後の経営見通し及び事業方針

### (1) 今後の経営の見通し

今後の経営の見通しは図表18の通りである。今後の見通しDIはマイナス24ポイントとなり、前回調査より4ポイント上回ったものの、依然として経営の見通しは苦しい状況である。

「国産材企業」・「外材企業」別の見通しDIは、「国産材企業」は前回調査より8ポイント上回る結果となった。一方、「外材企業」は前回調査より10ポイント下回った。

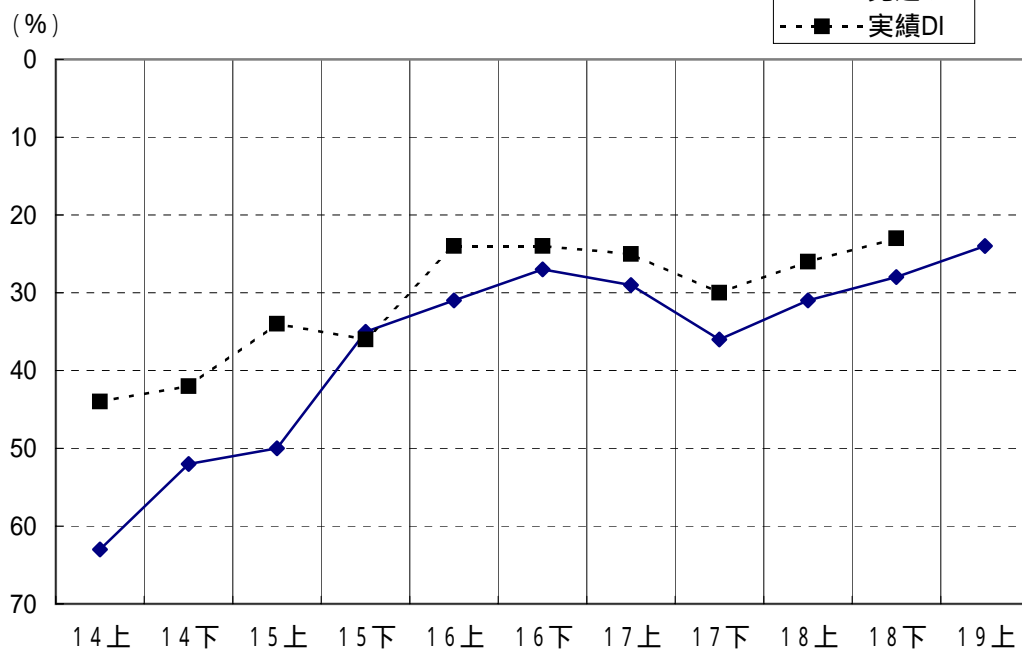
18年度下期の経営に関する実績DIは、見通しDIを5ポイント上回った。

図表18 今後の経営見通し

(単位: %)

| 年度期別       |       | 項目 | 合計  | 楽になる<br>(楽になった) | 横這い | 苦しくなる<br>(苦しくなった) | DI |
|------------|-------|----|-----|-----------------|-----|-------------------|----|
| 19年度上期の見通し |       |    | 100 | 6               | 64  | 30                | 24 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 8               | 63  | 29                | 21 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 0               | 66  | 34                | 34 |
| 18年度下期の見通し |       |    | 100 | 5               | 62  | 33                | 28 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 4               | 63  | 33                | 29 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 8               | 60  | 32                | 24 |
| 18年度下期の実績  |       |    | 100 | 5               | 67  | 28                | 23 |
| 内<br>訳     | 国産材企業 |    | 100 | 7               | 65  | 28                | 21 |
|            | 外材企業  |    | 100 | 0               | 74  | 26                | 26 |

「今期の見通し」 DI = 「楽になる」企業 - 「苦しくなる」企業



(2)今後の事業方針

今後の事業方針は図表19の通りである。今期の見通しDIは、前回調査より4ポイント上昇した。

「国産材企業」、「外材企業」別の見通しDIでは、前回調査より「国産材企業」は8ポイント上昇したが、「外材企業」は8ポイント下降した。

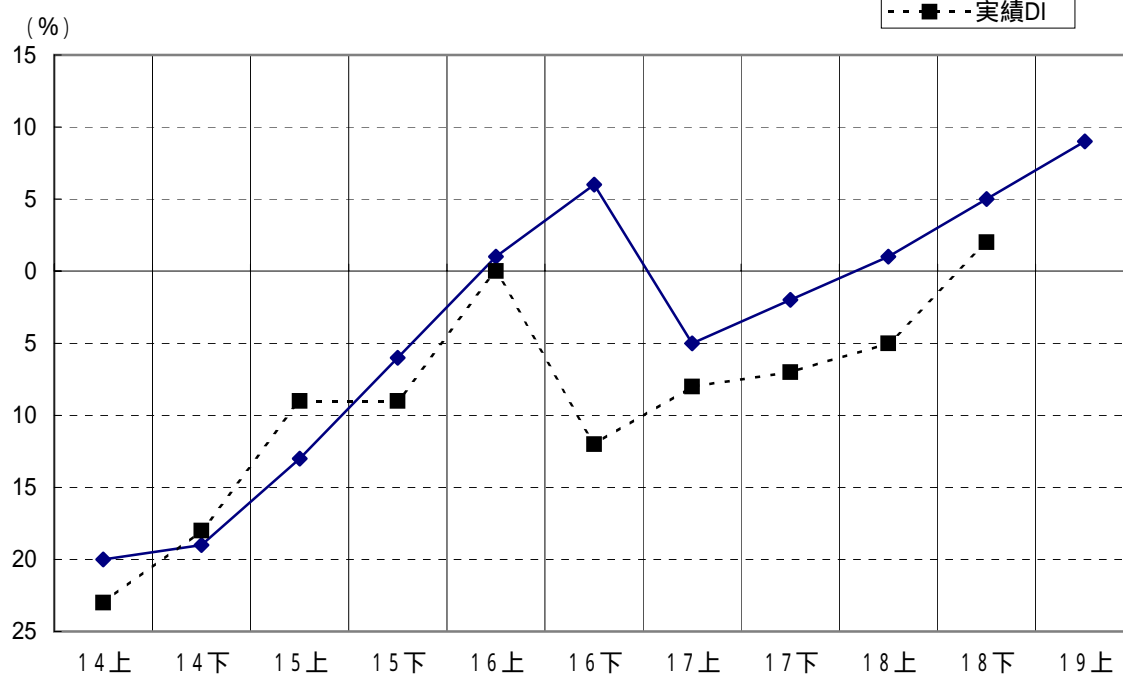
18年度下期の事業方針に関する実績は、見通しDIを3ポイント下回った。

図表19 今後の事業方針

(単位:%)

| 項目         |       | 合計  | 拡大 | 現状維持 | 縮小・転廃業<br>( )転廃業内数 | DI |
|------------|-------|-----|----|------|--------------------|----|
| 19年度上期の見通し |       | 100 | 21 | 67   | 12 (5)             | 9  |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 24 | 65   | 10 (5)             | 14 |
|            | 外材企業  | 100 | 9  | 75   | 16 (0)             | 7  |
| 18年度下期の見通し |       | 100 | 15 | 75   | 10 (1)             | 5  |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 15 | 76   | 9 (1)              | 6  |
|            | 外材企業  | 100 | 17 | 67   | 16 (2)             | 1  |
| 18年度下期の実績  |       | 100 | 14 | 76   | 12 (4)             | 2  |
| 内<br>訳     | 国産材企業 | 100 | 14 | 75   | 11 (4)             | 3  |
|            | 外材企業  | 100 | 11 | 77   | 12 (0)             | 1  |

「今期の見通し」 DI = 「拡大」企業 - 「縮小・転廃業」企業



B. 特別調査(以下の項目については、今回に限り調査したものである。)

1. 乾燥材(製品)の取扱い状況について

乾燥材(製品)の取扱い状況について調査したところ、図表20のとおりの結果となった。「順調に生産・販売」が22%、「設備導入のコスト高」が20%、「歩留りが低く採算性が低い」、「その他」が18%であった。

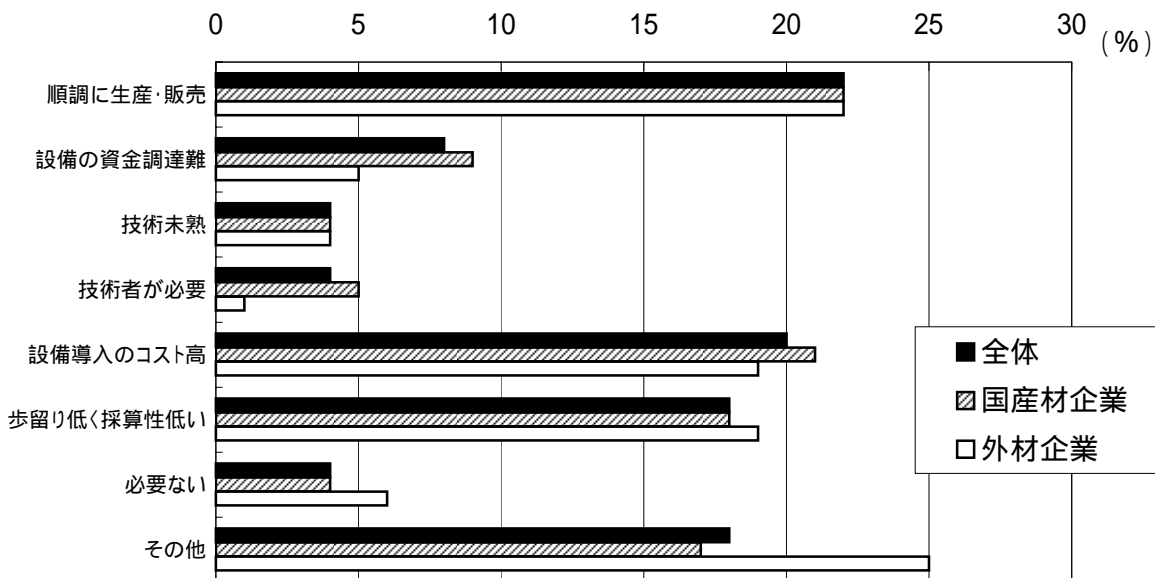
「国産材企業」、「外材企業」別でもおおむね同様な傾向となった。

その他と回答した中には、「乾燥は外注している」、「燃料費の高騰でそれに対応した新たな設備を導入したい」、「天然乾燥を行っている」などの回答が多かった。

図表20 乾燥材(製品)生産に対する意識について(複数回答) (単位: %)

| 業者の種類 \ 項目 | 産順<br>調に<br>販売 | 金設<br>調備<br>達の<br>難資 | 技術<br>未熟 | 技<br>術者<br>が<br>必<br>要 | の設<br>備<br>高<br>コ<br>ス<br>ト<br>入 | が<br>低<br>い<br>採<br>算<br>性<br>低 | 必<br>要<br>な<br>い | そ<br>の<br>他 |
|------------|----------------|----------------------|----------|------------------------|----------------------------------|---------------------------------|------------------|-------------|
| 全 体        | 22             | 8                    | 4        | 4                      | 20                               | 18                              | 4                | 18          |
| 国産材企業      | 22             | 9                    | 4        | 5                      | 21                               | 18                              | 4                | 17          |
| 外材企業       | 22             | 5                    | 4        | 1                      | 19                               | 19                              | 6                | 25          |

(回答数 / 回答者数 × 100)





## 2. 生産した乾燥材(製品)の取引状況について

(1) 生産した乾燥材(製品)の取引状況について調査したところ、図表21のとおりの結果となった。「大手以外の住宅メーカー」が25%と最も多く、次いで「製品市場」(17%)、「その他」(15%)、「問屋」(14%)が続いている。

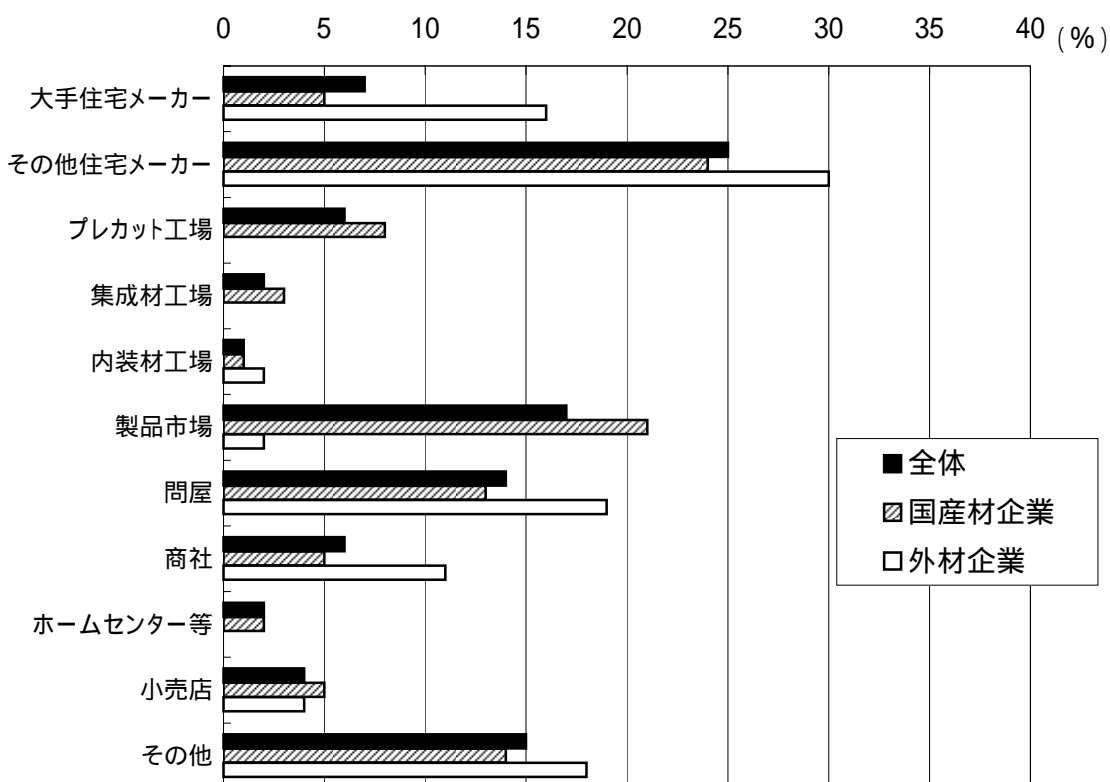
「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は「全体」とほぼ同様の結果となったが、「外材企業」は「大手住宅メーカー」、「その他住宅メーカー」、「問屋」などが高い割合であった。

また、「その他」については、「自社」、「輸出梱包」、「一般製材会社」、「大工・個人」という回答などが目立った。

図表21 生産した乾燥材(製品)の主要な販売先について (単位:%)

| 業者の種類 \ 項目 | 大手住宅メーカー | その他住宅メーカー | プレカット工場 | 集成材工場 | 内装材工場 | 製品市場 | 問屋 | 商社 | ホームセンター等 | 小売店 | その他 |
|------------|----------|-----------|---------|-------|-------|------|----|----|----------|-----|-----|
| 全体         | 7        | 25        | 6       | 2     | 1     | 17   | 14 | 6  | 2        | 4   | 15  |
| 国産材企業      | 5        | 24        | 8       | 3     | 1     | 21   | 13 | 5  | 2        | 5   | 14  |
| 外材企業       | 16       | 30        | 0       | 0     | 2     | 2    | 19 | 11 | 0        | 4   | 18  |

(回答数 / 回答者数 × 100)



(2) 生産した乾燥材(製品)の販売先と納品先について

上記で回答した企業に販売先と納品先について調査したところ、図表22のとおり  
の結果になった。「販売先と納品先が同じ」が71%、「販売先と納品先が別」が29%  
であった。「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」の「販売先と納品先  
が同じ」が70%、「外材企業」の「販売先と納品先が同じ」が73%とほぼ同様な結果  
となった。

図表22 乾燥材(製品)の販売先と納品先について (単位:%)

| 項目<br>業者の種類 | 全 体 | 販売先と<br>納品先が同じ | 販売先と<br>納品先が別 |
|-------------|-----|----------------|---------------|
| 全 体         | 100 | 71             | 29            |
| 国産材企業       | 100 | 70             | 30            |
| 外 材企業       | 100 | 73             | 27            |

販売先と納品先が別の企業の納品先について

販売先と納品先が別であると回答した企業について、実際の納品先を調査したと  
ころ、図表23のとおり結果となった。販売先(図表21)と比べて、実際の納品先は  
プレカット工場(17%)や、小売店(15%)が多くなっている。

図表23 生産した乾燥材(製品)の主要な納品先について (単位:%)

| 項目<br>業者の種類 | 大手住宅<br>メーカー | その他住宅<br>メーカー | プレカッ<br>ト工場 | 集成材<br>工場 | 内装材<br>工場 | 製品市場 | 問屋 | 商社 | ホームセ<br>ンター等 | 小売店 | その他 |
|-------------|--------------|---------------|-------------|-----------|-----------|------|----|----|--------------|-----|-----|
| 全 体         | 2            | 17            | 17          | 2         | 1         | 13   | 11 | 7  | 4            | 15  | 12  |
| 国産材企業       | 3            | 16            | 16          | 3         | 1         | 11   | 5  | 7  | 3            | 10  | 9   |
| 外 材企業       | 0            | 19            | 19          | 0         | 0         | 5    | 24 | 0  | 5            | 19  | 10  |

(回答数 / 回答者数 × 100)

販売先と実際の納品先が別と答えたものについて、個々の関係を調べると図表24  
のとおりとなっている。

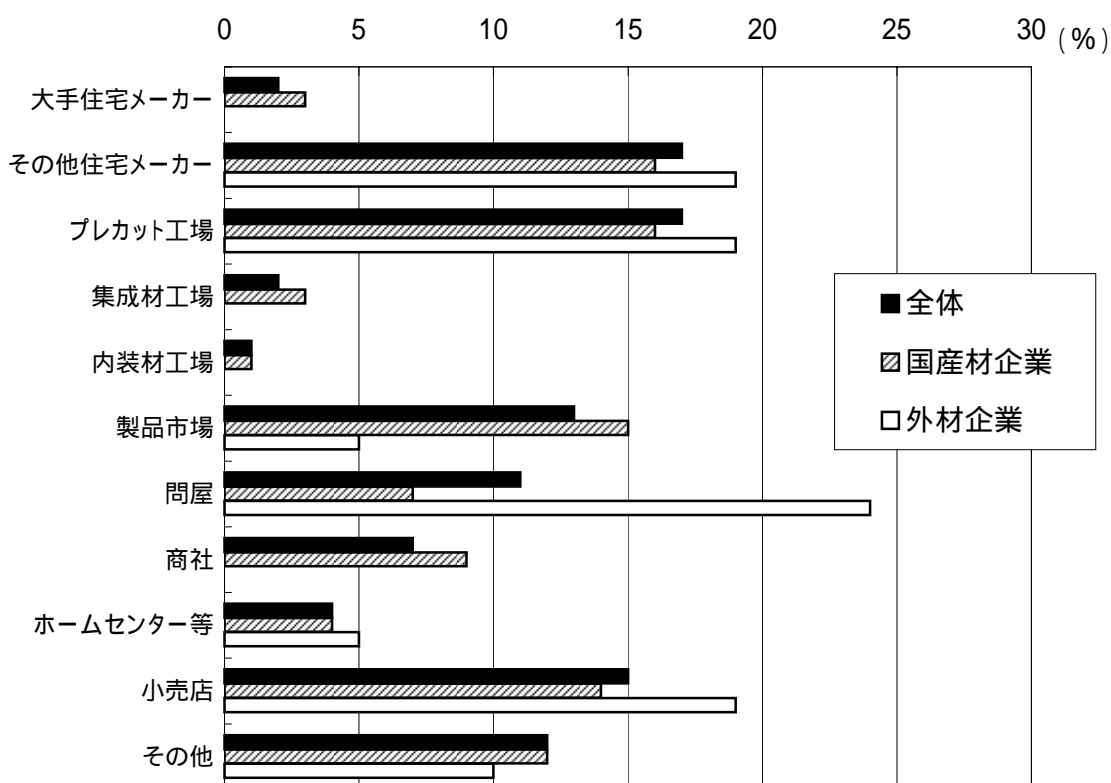
商社を販売先とするものでは、問屋を納品先とするものが多く、問屋を販売先とす  
るものでは、小売店を納品先とするものが多くなっている。

図表24 乾燥材(製品)の販売先と納品先の関係について

(単位:件)

| 主要販売先 \ 主要納品先 | 大手住宅メーカー | その他住宅メーカー | プレカット工場 | 集成材工場 | 内装材工場 | 製品市場 | 問屋 | 商社 | ホームセンター等 | 小売店 | その他 | 計  |
|---------------|----------|-----------|---------|-------|-------|------|----|----|----------|-----|-----|----|
| 大手住宅メーカー      |          |           | 1       |       |       |      |    |    |          |     |     | 1  |
| その他住宅メーカー     |          | 6         | 1       |       |       | 2    | 2  | 1  |          |     |     | 12 |
| プレカット工場       | 3        | 2         | 2       |       |       | 2    | 2  | 4  |          |     |     | 15 |
| 集成材工場         | 1        |           |         | 1     |       |      |    |    |          |     |     | 2  |
| 内装材工場         |          |           |         |       |       |      |    | 1  |          |     |     | 1  |
| 製品市場          | 1        | 1         | 2       |       |       | 5    |    | 1  |          |     | 1   | 11 |
| 問屋            |          |           |         |       | 1     |      | 1  | 6  |          |     |     | 8  |
| 商社            | 1        | 1         | 1       |       |       |      |    | 2  |          |     | 1   | 6  |
| ホームセンター等      |          |           |         |       |       |      | 1  | 1  | 2        |     |     | 4  |
| 小売店           |          |           |         |       |       | 2    | 8  | 4  |          | 1   | 1   | 16 |
| その他           | 1        | 1         |         |       |       | 1    | 1  | 3  |          | 1   | 5   | 13 |
| 計             | 7        | 11        | 7       | 1     | 1     | 12   | 15 | 23 | 2        | 2   | 8   | 89 |

複数の販売先、納品先をもつ者があるので、納品先毎の計は図表23の割合に一致しない。



B. 特別調査(以下の項目については、今回に限り調査したものである。)

1. 乾燥材(製品)の取扱い状況について

乾燥材の取扱い状況について調査したところ、図表20のとおり結果となった。「外材のみ」が6%、「外材と国産材」が46%、「国産材のみ」が48%であった。「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は「外材と国産材」が37%であったのに対し、「外材企業」は75%であった。

図表20 乾燥材生産に対する意識について (単位:%)

| 業者の種類 \ 項目 | 合計  | 外材のみ | 外材と国産材 | 国産材のみ |
|------------|-----|------|--------|-------|
| 全 体        | 100 | 6    | 46     | 48    |
| 国産材企業      | 100 |      | 37     | 63    |
| 外材企業       | 100 | 25   | 75     |       |

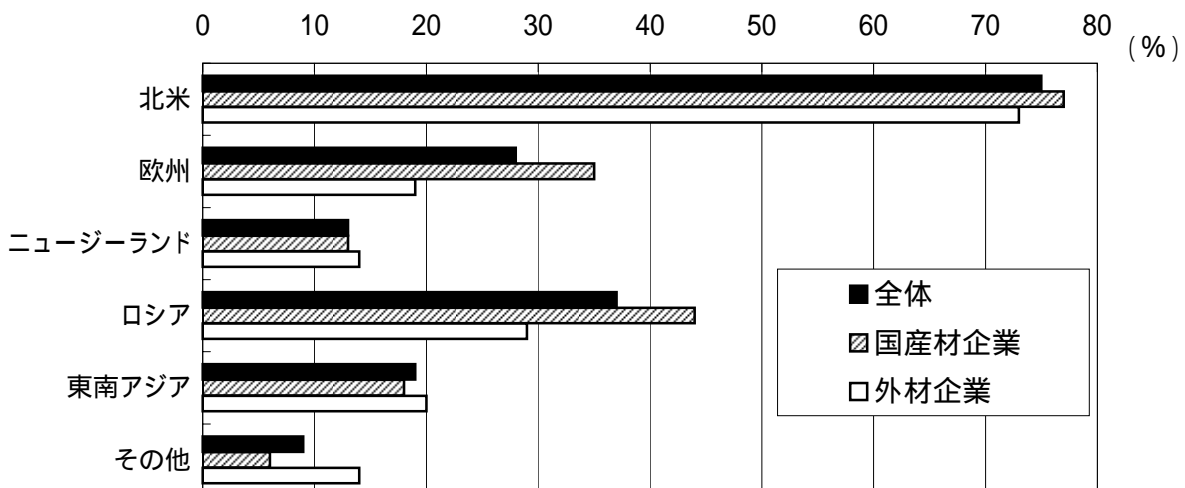
2. 取扱う外材(原木、製品)の産地について

取扱う外材の産地について調査したところ、図表21のとおり結果となった。「北米」が75%と最も多く、次いで「ロシア」(37%)、「欧州」(28%)が続いている。また、「その他」については、「中国」、「南米」との回答が多かった。「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は「全体」とほぼ同様の結果となった。「外材企業」は「北米」、「ロシア」、「東南アジア」といった順位である。

図表21 取扱う外材の産地について(複数回答) (単位:%)

| 業者の種類 \ 項目 | 北米 | 欧州 | ニュージーランド | ロシア | 東南アジア | その他 |
|------------|----|----|----------|-----|-------|-----|
| 全 体        | 75 | 28 | 13       | 37  | 19    | 9   |
| 国産材企業      | 77 | 35 | 13       | 44  | 18    | 6   |
| 外材企業       | 73 | 19 | 14       | 29  | 20    | 14  |

(回答数 / 回答者数 × 100)



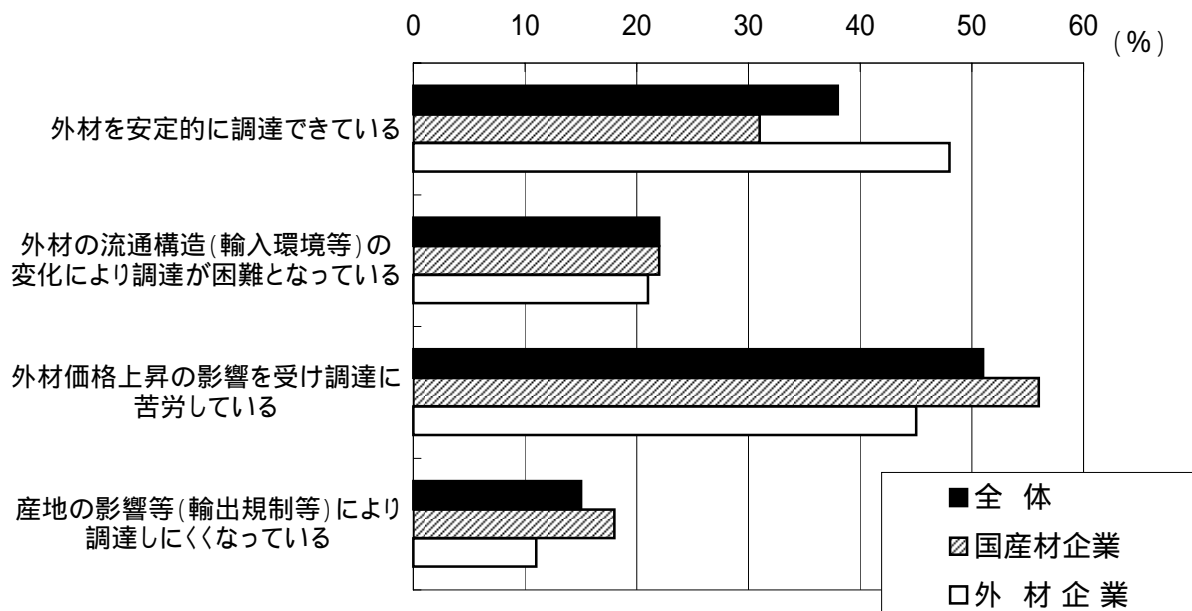
### 3. 取扱う外材(原木、製品)の調達状況について

取扱う外材の調達状況について調査したところ、図表22のとおりの結果となった。「外材価格上昇の影響を受け調達に苦労している」が51%と最も多く、次に「外材を安定的に調達できている」(38%)と続いている。「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は「全体」とほぼ同様の結果となった。「外材企業」は「外材を安定的に調達できている」(48%)が最も多い結果となった。

図表22 取扱う外材の調達状況について(複数回答) (単位:%)

| 業者の種類<br>項目                     | 全体 | 国産材企業 | 外材企業 |
|---------------------------------|----|-------|------|
| 外材を安定的に調達できている                  | 38 | 31    | 48   |
| 外材の流通構造(輸入環境等)の変化により調達が困難となっている | 22 | 22    | 21   |
| 外材価格上昇の影響を受け調達に苦労している           | 51 | 56    | 45   |
| 産地の影響等(輸出規制等)により調達しにくくなっている     | 15 | 18    | 11   |

(回答数 / 回答者数 × 100)



#### 4. 外材(原木、製品)調達に向けた今後の取組について

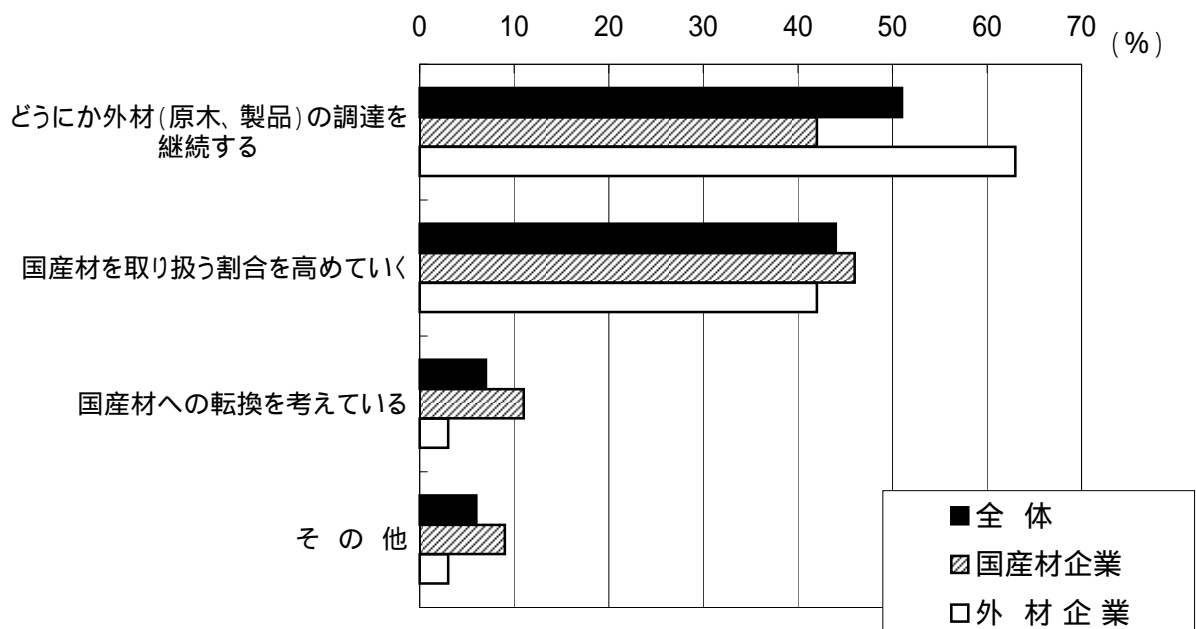
外材調達に向けた今後の取組について調査したところ、図表23の通りの結果となった。「どうか外材の調達を継続する」が51%と最も多く、次に「国産材を取り扱う割合を高めていく」(44%)が続いている。

「国産材企業」・「外材企業」別では、「国産材企業」は「国産材を取り扱う割合を高めていく」が46%と最も多い結果となった。「外材企業」は「全体」とほぼ同じ結果となった。

図表23 外材調達に向けた今後の取組について(複数回答) (単位:%)

| 項目                   | 業者の種類 | 全体 | 国産材企業 | 外材企業 |
|----------------------|-------|----|-------|------|
| どうか外材(原木、製品)の調達を継続する |       | 51 | 42    | 63   |
| 国産材を取り扱う割合を高めていく     |       | 44 | 46    | 42   |
| 国産材への転換を考えている        |       | 7  | 11    | 3    |
| その他                  |       | 6  | 9     | 3    |

(回答数 / 回答者数 × 100)



独立行政法人

**農林漁業信用基金(林業部門)**

---

〒101-8506 東京都千代田区内神田1-1-12

コープビル11階

TEL 03-3294-5581(林業部門代表)

FAX 03-3294-5595

URL <http://www.affcf.com>